

9 番 熊 澤

受付番号2番、質問議員、9番、熊澤友子でございます。

件名。1、終活支援の取組は。2、带状疱疹ワクチンへの助成を。

1、自分の人生の最終をどのように決めるかと不安を抱えている方や一人暮らしの方、身寄りのない方等の心情を考えると、終活支援も大変重大であると思われるが、エンディングノートの作成など、山北町として終活支援の取組状況は。

2、带状疱疹は、水膨れを伴う発疹が皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患である。水疱が見られる2～3日前からかゆみや痛みを感じるようになり、1週間程度たつと水疱の多発や発熱、頭痛といった症状が見られることがあり、通常は2～4週間で皮膚の症状が収まる。50歳以上の方が3人に1人発症すると言われているが、ワクチン接種をすることで発症予防や重症化予防が期待できるとされていることから、町からの接種助成をしてはどうか。

以上。

議

長

答弁願います。

町長。

町

長

それでは、熊澤友子議員から「終活支援の取組は」「带状疱疹ワクチンへの助成を」についての御質問をいただきました。

初めに、1点目の御質問の「自分の人生の最終をどのように決めるかと不安を抱えている方や一人暮らしの方、身寄りのない方等の心情を考えると、終活支援は大変重要であると思われるが、エンディングノートの作成など、山北町としての終活支援の取組状況は」についてであります。本町の終活支援の取組といたしましては、町や社会福祉協議会、地域包括支援センターが主催する「やまぶき学級」や「介護のつどい」において、終活をテーマにする行政書士等の専門家を講師として、講演会や研修会をコロナ禍前に実施しておりました。参加者からは、終活の方法やイメージを持つことができたなどの感想をいただいておりますので、今後も機会を捉えて実施していきたいと考えております。

さらに、加齢や認知症による判断能力が低下した方の権利擁護のために、成年後見人制度の中核機関として、昨年7月には足柄上地区1市5町共同で

「あしがら成年後見センター」を設置いたしました。

こちらには、専属の弁護士や司法書士が在籍し、後見制度に関する一般的な相談や困難事例に対しても専門的な支援が受けられる体制となっております。

エンディングノートにつきましては、現在、本町と中井町、開成町の3町で共同で作成しております。今年9月頃に完成する予定となっております。内容といたしましては、今までの人生の振り返りや健康状態、病気や介護など、もしものときの備えや、葬儀や遺言など本人亡き後のことについてノート形式で記入することで、残される家族の負担や不安を軽減したり、自分自身の希望や思い、感謝の気持ちを伝えたりすることができるものとなっております。

町では、より多くの方に、元気なうちから終活を我が事と捉えていただくことが重要だと考えておりますので、今後作成するエンディングノートを活用して、その人に合ったよりよい最期を迎えるための支援を引き続き行ってまいります。

次に、2点目の御質問の「带状疱疹は、水膨れを伴う発疹が皮膚に分布している神経に沿って帯状に出現する疾患である。ワクチン接種をすることで、発症予防、重症化予防が期待できるとされていることから、町からの接種助成をしてはどうか」についてであります。带状疱疹は、子どもの頃に感染する水ぼうそうのウイルスが体内に潜伏し、加齢とともに免疫力が低下する50歳以上の方の体内で再びウイルスが活性化して症状を引き起こす病気で、日本人の9割以上が80歳までに発症するとしています。

また、症状は、主に上半身に痛みを伴う赤い発疹が現れ、50歳以上の発症者のうち2割は3か月以上の痛みが継続する带状疱疹後神経痛を発症し、高齢者ほどそのリスクが高くなっております。

予防する方法としては、免疫力の低下を招かないよう、栄養のバランスの取れた食事や十分な睡眠、適度な運動が有効とされておりますが、ワクチン接種もまた有効とされております。

現在、带状疱疹に有効なワクチンは2種類存在し、一つは2回の接種で4万円から5万円程度の接種費用がかかる不活性化ワクチンと、もう一つは1

回の接種で7,000円から1万円程度の生ワクチンですが、予防の有効性から接種費用が比較的高額な不活性化ワクチンが主流となっております。

町では、带状疱疹は高齢者に発症しやすい疾患であるということや、主流となっている不活性化ワクチンの費用が比較的高額ということもあり、助成について実施の方向で検討を進めたいと考えております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 ただいま答弁をいただきましたので、1番の終活支援の取組についてお伺いいたします。

町でも終活支援は行っているようですが、この就活支援は、どのぐらいの割合でやるのでしょうか。年1度とか、何か月に1回とかです。あと、参加される方の状況もお伺いいたします。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 御質問ですが、頻度につきましては、介護のつどいが、こちらは平成30年度、31年度と老い支度ということで社会福祉協議会のほうが開催させていただいております。それから、コロナ禍を経まして、やまぶき学級、昨年度、こちらも老い支度という形で、こちらは一般市民の方を対象として、生涯学習センターでやまぶき学級の1講座として開催させていただいております。また、今年に入りまして2月の下旬に、家族介護教室という形で老い支度講座を、やはり一般町民の方、民生児童委員を対象として開催しております。

大体頻度としましては、年に1回程度を実施しておりまして、今年度も一応また、この2月末に開催しました。これユニ・チャームという会社のほうで排せつ処理なんですけども、こちらをまた民生委員の方でありますとか、町内のケアマネジャーさんを対象に、交流会も含めて開催をさせていただく予定であります。大体、年に1回程度の開催の状況となっております。

参加者の方なんですけども、先ほど申しました介護のつどい、平成30年度につきましては、約ですね、一般町民の方が30名に満たない程度になっております。ただ、31年度の介護のつどいにつきましては、一般町民の方が10名程度、残りが民生委員の方で参加いただける方という状況になっております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 定期的に行っているということは確実に分かりましたが、そのときに、エ

ンディングノートの話とか、そういう話は必ず出ると思うんですね、その講習会の中でも。そういう話は出たことはないですか。

議 長 福祉課長。

福祉課長 こちらでエンディングノートのお話が具体的に出たというのは、ちょっと私のほうも伺っておりませんで、今までエンディングノートにつきましては、町のほうでも、周辺自治体のほうで作成していますので、何かしら形にしななければいけないというので、内部的には社会福祉協議会とともに話が出ておりました。一般の方からそういう話が出たというのは、ちょっと私のほうではつかんでおりません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、いろいろな講習会に行きますと、最終的には自分たちはどういうふうにしたらいんだということが質問される方もいて、やっぱりこういうことを書き留めておいたほうがいいよという先生もいらっしゃったりしたんですね。

ですから、やっぱり書き留めておくということの大切さを私は感じたものですから、何で町にはそういうのがないのかなってずっと思ってたところなんです。やはり自分の最期をどのようにしていくかという、やはり講習会等を聞くと、やっぱり痛切に感じる部分があると思うんです。

だから、その辺を、このエンディングノートって、何年か前にすごくみんなの耳につくぐらいに聞いた題名なんですけども、やはりエンディングというあれが嫌なのか何なのか、やはり高齢者の方は、いろんなふうな寄り添いがとても大事じゃないかと思ひまして、その辺をやはり自分からはなかなか言えないんだと思うんですね。だから、その辺を察するというのも大事ではないかと思ひまして伺ってるんですが、今後、開成町と中井町と山北町で、この3町で共同で作成すると、この共同でという意味は何でしょうか。

議 長 福祉課長。

福祉課長 エンディングノートにつきましては、現在、足柄上1市5町の状況ですが、大井町、松田町、南足柄市については作成済みとなっております。南足柄市につきましては「わたしのしおり」という形で、エンディングノートという名前ではないんですけども、こちら社会福祉協議会のほうで作成したものが

公開されております。

大井町、松田については、ホームページ等ではダウンロードはできない状況なんですけども、作成済みというのは確認させていただいております。松田町で、やはり終活という形で過去にイベントをしまして、そのときにエンディングノートを配布させていただいているそうです。

町につきましては、上郡で、これは中井町さんからの呼びかけなんですけども、やはりエンディングノートの必要性は担当部署のほうで上がっておりまして、今回、共同で作成しますのは、株式会社のほうが費用負担する形で、官民共同発行に関する協定書をこちらの会社のほうと3町のほうで締結させていただいて、記事のほうが基本的に町村のほうで編集させていただいて、冊子として形にするのは事業者と、広告収入のほうで費用を賄うという形になっておりますので、3町で作成させていただくという経緯となりました。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、3町で合同でやるということには、町には費用負担がないということによろしいのでしょうか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 こちらのエンディングノート作成につきましては、3町の費用負担のほうは発生いたしません。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、町独特のあれというのは、別にそのノートには反映はされるんですか、されないんですか。

議 長 福祉課長。

福 祉 課 長 こちら、町独自というわけではなくて、ある程度、会社のほうで様式を備えたフォーマットのものがございます。そちらの中に3町の名前が入ってくるとか、3町の連絡先、こちらが入ってくる形となります。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 そうしますと、そのエンディングノートの中にいろんなこういうノートがあるんですけども、やはりその中で、葬儀の御案内とかというふうに分かれていく場合もありますよね。そうしますと、3町の中で、こことこことここという、選ばれたようなところが載っていくわけですか。

- 議 長 福祉課長。
- 福祉課長 このエンディングノートの内容なんですけども、先ほどの答弁のほうにもありましたが、一般的なエンディングノート、現在市販のされているものがありますとかスマホのアプリもございますが、あくまで公の機関が出すものなので、極めて一般的な内容となっております。
- 主な内容としましては、先ほど答弁もありましたが、病気になったとき、延命措置を望むか望まないか。それから、自身が介護医療が必要になったときの希望する内容でありますとか、財産貴重品に関する情報、葬儀や相続に関する考え方、それから、御自分の自分史や家系図などを記載するものとなっております。
- 議 長 熊澤友子議員。
- 9 番 熊 澤 そうしますと、やはり3町でのやるということになりますと、ネーミングはエンディングノートですか。何か違う名前を考えるとかはないわけですね。
- 議 長 福祉課長。
- 福祉課長 こちらは、名称は、3町、山北町、開成町、中井町、マイエンディングノートを予定しております。
- 議 長 熊澤友子議員。
- 9 番 熊 澤 これは今年の9月頃に完成予定だということもお聞きしましたので、エンディングノートは、やっぱり高齢者、私が知ってる限りは一人暮らしの人からよく電話が来て、今後、私いつ病気が悪くなるか分からない、病弱な方だったので、何かに書き留めておいたほうがいいとか、どうしたらいいかという相談がありました。
- だから、もう自分がこういうふうにしたいということは、やっぱり書いておくのが一番だよという話をしまして、それでいろいろ書いてあげました。何でもいいのかしらって言うから、私の知ってる範囲のことを言わせていただいて、それで書いておきますということをされたんですね。それで、それから3か月後に亡くなったんですけども、やはり私の知識だけではなく、エンディングノートがあつたら、もっといろんなことを書けたんじゃないかってちょっと後悔もしたりするんですけども、やはり高齢者の方に寄り添っていくという、その一つのツールだけでも、より強い寄り添えるんですね。

だから、そういうことがすごく大事だなと思って、今回質問させていただいたんですが、やはり自分の最期って、みんなふだんはあまり気がつかないですけど、講習会やいろんなことに出たときに、やっぱり考えさせられることではないかって、誰でもそうなるっていきんじやないかと思ってるので、やはりこれはしっかりと取り組んでいただいて、やっていけばありがたいかなと思っています。

それで、1市5町の足柄上地区の在宅医療や介護の支援センターで、よく年に何回か講座をやりますよね。この講座は、コロナ禍の中でもやってたんですが、この頃はやるという計画はあるのでしょうか。

議 長 保険健康課長。

保 険 健 康 課 長 在宅医療・介護連携支援センターの事業ですけども、コロナの影響で縮小したところがございますが、今後は順次、講演会ですとか住民向けの研修会といったものも、例えば専門職向けの研修会といったものも再開しているというふうに聞いてございます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 1市5町で取り組んでるんで、結構参加者がすごく多いんですね。ですから、日程が決まり次第、やはり町民の皆様にも、また私たち自身もそういうことをしっかりと受け止めて、今後の老人の介護とか医療のほうについてもしっかりと学ばせていただける機会があるので、やっぱりその辺はPRして、より多くの方に参加していただけるような方法を取っていただければありがたいかなと思います。

議 長 保険健康課長。

保 険 健 康 課 長 今後も町のホームページですとか、あと、それから広報をタイムリーに載せていきたいと思えます。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 今、課長からそのような御回答いただきましたので、また今後に期待して、私たちもそれに十分参加していければいいなと思っております。

それでは、次の带状疱疹についてお伺いいたします。

答弁では、助成については助成の方向で検討していきますというお話ですが、带状疱疹はやはり高齢者が痛みを感じる病気なので、突然かかったりす

るわけですね。ですから、本当に高齢者の方が痛いって大変なことだと思うんですね。ですから、これは大体どれぐらいの時期に実施されるのか、ちょっとお伺いしてもよろしいでしょうか。

議 長 町長。

町 長 実施時期については、来年度から実施したいというふうに思っています。たまたまですけど、私も1か月前に带状疱疹になって、いまだに痛いんですけど、なかなか3か月ぐらいかかるということで、非常に実際に痛いんだなということはよく分かっていますんで、そういったところも少しでもかかる方に助成ができればというふうに思っております。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 带状疱疹はワクチンがございまして、ワクチンのほうが2種類あるんですが、生ワクチンと不活化ワクチンと2種類ありまして、やはり生ワクチンというほうは2016年にできたんです。それで、不活化ワクチンというのは2020年にできたもので、まだまだ新しいものなんですね。

生ワクチンのほうは、1回1万円程度で済むわけですね。それで、不活化ワクチンのほうは、2回接種して約4万円です。そうしますと、高齢者の人が2万円かけて2回受ける。それはもう本当に、その痛みをいろんな人から聞くと、もう自分はそうなりたくないって思う人がいるわけですね。そういう方々が受けているものだとは思いますが、でも、やっぱりある程度年齢が来てから痛みを感じるということは大変なことだと思ってるんです。ですから、不活化ワクチンについては、2回接種すると発症予防効果が96.6%なんです。生ワクチンのほうは69.8%なんです。安いほうでもいいんじゃないかと思うかもしれませんが、ワクチンをしたからといってならないとは限らないんですね。そうしますと、やっぱりせつかくやるんだったら、高くても、それになりたくないというワクチンのほうを選ぶという方が多いんですね。ですから、これは本当にどうにかならないのというお声を何人かからお伺いしました。

やはり、それを付き添ってる奥さんだったり御主人だったり、大変な思いだと言うんです。何週間も寝られなく痛い痛いって言われると、もう大変という。やはり夫婦でいられると、夫婦共々に大変な状況をやっているわけで

すね。

ですから、もう本当に2回で4万円というのは高いものですが、高齢者にしては大変なことなんです。ですから、やはり来年と言わず、もっと早くの助成はできないものかと思うんですが、町長のお考えはどうでしょうか。

議 長 町長。

町 長 おっしゃるとおり、自分が今なっておりますからよく分かるんですけど、できるのは早期にできるんですけど、痛みは中に来るんですね。内臓のほうからも痛くて寝れなくなって、そういうようなことで実際に大変な思いをしておりますけども、なってしまったのを治すのは、あくまでもお医者さんにやらなきゃいけませんけども、なる前にワクチンを打つことによって、かからなくなるということですので、ぜひとも、そういった意味では、今後、助成どの程度かは、周りのところでやっているところがございますので、それらを参考にしながら、なるべく来年度から行っていきたいというふうに考えています。

議 長 熊澤友子議員。

9 番 熊 澤 来年度からということですが、やはり近隣でもいろいろと考えてみたいので、一番最初にやったのが松田町なんです。松田町は、不活化ワクチン1回につき8,000円、2回までということで、今、実際にもうやられてるようです。今年の4月からやりますということでした。あと、各町がもう本当に早急に検討してやりますというお話をいただいているということでした。

やはり痛みがある、町長御自身がなられて、もう痛感してるのは分かります。ですから、やはりその辺をしっかりと、もう本当に痛みをどう抑えるかということで、なったら重症化しないようにしていくのがあれなんですけども、やっぱりそれは予防ができるものは予防したいという思いの方が多いため、やはりその辺を町としてもしっかりと受け止めて、早々にやっていただければありがたいかなと思っておりますので、それで、ぜひとも期日を短くできますように御検討いただければありがたいかなと思います。

以上です。

議 長 回答はいいですか。

9 番 熊 澤 回答。最後に回答をお願いします。

議 長 町長。

町 長 私も本当にまだ治っておりませんので、どれだけ長くかかるというのも、もう一月ちょっとかかっておりますので、非常に大変な思いして、そして男性の方は、もし起きてもそれで済むんですけど、女性の方は、やはり顔とか頭とか、そういうところに万が一できたときには大変なことになりますので、そういったことも含めて、なるべく早く助成ができるようにやっていきたいというふうに思っております。

9 番 熊 澤 終わります。